令和８年度　　八日市南高等学校　学校評価

本年度の重点目標

1　基礎的・基本的な知識・技能（技術）の習得（生涯学び続ける継続的な力の育成）
2　基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚
3　ものづくり実践を通してのキャリア教育及び進路実現
4　有益な人物となるための知力と体力の育成
5　「いのち」とのかかわりを通じて、一人ひとりを大切にする人権感覚の涵養と自己効力感の醸成

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	校長は、自らの教育理念にもとづいて学校経営を推進している。	A		
	学校は、教育方針や教育目標、教育活動に関する説明を適切に行っている。	A		
2　学習指導	授業時間を確保し、シラバスに基づき計画的に学習指導を実施している。	A		
	教員の指導力向上を図り、授業の改善に取り組んでいる。	A		
3　生徒指導	生徒の自立を促し、規範意識の向上に努めている。	A		
	基本的生活習慣を身に付ける指導を継続して行っている。	A		
	いじめの問題について、クラスや学年、生徒会等で取り組んでいる。	A		
4　進路指導	個々の生徒の能力や適性等の的確な把握に努め、その伸長を図っている。	A		
	社会人、職業人としての生き方や人間形成についての指導、支援を行っている。	A		
5　特別活動等	ＬＨＲや学校行事に主体的に取り組むよう指導している。	A		
	部活動に自主的に取り組むよう指導している。	A		
6　学校図書館	生徒の読書意欲を向上させる啓発活動、読書指導を行っている。	A		
	教科・科目、ＬＨＲ等で図書館資料の活用を図っている。	B		
7　保健・安全指導	保健活動の推進と教育相談の充実に努めている。	A		
	心身の健康について、生徒のみならず、職員にも啓発している。	A		
8　人権教育	ＬＨＲ、ボランティア活動等を活用し、人権意識を高める指導を行っている。	A		
	明るく生き生きとしたクラスづくり、学校づくりを推進している。	A		
9　環境教育	清掃活動の充実を通して、自ら環境の大切さを身をもって体得させている。	A		
	ゴミの減量、光熱水費の節減を日常的に行っている。	A		
10　事務・管理	施設設備等の管理を適切に行っている。	A		
	文書、情報の管理を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	学校とＰＴＡとの連携による活動を積極的に行っている。	A		
	学校と地域との交流活動を積極的に行っている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.yokaichiminami-h.shiga-ec.ed.jp/